

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月27日

計画の名称	滑川市における災害に強く安全に暮らせるまちづくり(防災・安全)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	滑川市												
計画の目標	滑川市は富山県の中央部からやや東北寄りに位置し、東側は早月川、南西側は郷川とこれに合流する上市川下流部を境界に他市町と接しており、面積は54.62km <sup>2</sup> である。市の海岸付近を通った北国街道の宿場町として人の往来や物資の流通で賑わい、都市機能が集積されて中心市街地が形成されている。ただ、その多くが津波の浸水想定区域となっており、地震発生後3分で最高6.8mの津波到達を予測しており、市民の安全を守ることが急務となっている。大規模化・広域化する自然災害に対応するため、市街地の緊急時の避難場所・避難所機能を有した拠点「地区緊急避難施設」などのハード整備を計画的に実施するとともに、自主防災組織の育成、防災訓練の強化等のソフト事業を充実し、効果的に展開することによって、地域防災体制の強化を図り、災害に強く安全に暮らせるまちづくりを行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	769	A	768	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.13	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	地区内の指定避難所を16箇所(R1)から17箇所に増加 DID地区内の指定避難所数の増加 避難所数	16箇所	箇所	17箇所
2	備蓄することができる非常用食料・飲料水の量を、3,100人分(R1)から3,900人分に増加 備蓄することができる非常用食料・飲料水の量の増加 災害発生から4日後の想定避難者数×支給対象者の割合	3100人分	人分	3900人分
3	防災士がいる自主防災組織の数を、31組織(R1)から106組織に増加 防災士がいる自主防災組織の増加 防災士がいる自主防災組織の数	31組織	組織	106組織

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	滑川市	直接	滑川市	-	-	地区公共施設等整備(滑川地区)	地区緊急避難施設、防災広場、避難路等	滑川市						768	-	
											小計						768		
											合計						768		



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	17				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	17				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	17				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 滑川市における災害に強く安全に暮らせるまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

